

ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝

「後悔したくない」

今年度2年生対象に国際教養科と共同で「Global Relations Challenge 2021 海外支社勤務日本人オンライン講演会」を実施いたしました。

コロナ禍だからオンラインなのではなく、コロナ禍だからこそ、講演では直接対面でお話を聴くことが難しい方（時間・距離・費用）をマッチングしていただきました。講師を務めていただいた方は国際教養科にも国際流通科にもマッチする話題でお話くださり、随時質問を受け付けて頂きました。

多くの生徒の印象に残ったパワーワードが「後悔したくない」という言葉でした。多くの生徒が疑問に思った「日本で成功を収めているのに、あえて海外での起業にふみきった勇気」も「後悔したくない」という一心からの行動であったことであり、生徒にとって刺激や共感を得られ有意義な時間となりました。

また、商品開発のために商品を買う人の目線で考えること、その商品のことを常に考え続けることが大切であることなど、マーケティングや課題研究に通じるお話もありました。



同時に複数の学科の生徒が全く同じ講演を聴きましたが、国際教養科の生徒の視点と国際流通科の生徒の視点が違って面白かったです。今後10月・2月に実施を予定しています。深い学びに繋がることを期待しています。

講演を聴いて終わりではなく、準備と振り返りを深めることによって自分自身のものとなります。今回の講演を聴きながらメモをとったものが左の写真になります。講演後、メモを見ながら振り返りのシートを使ってまとめを行いました。

今回の講演を通して数名の生徒が質問に立ちました。オンラインではありましたが、クラスメイトや他の教室からの大勢の視聴がある中、自らの意思でWebカメラの前で質問をすることは非常に緊張することではありますが、その人にとって貴重な経験や財産になったと思います。こういった場面で自らの意思で行動に移すことができる力が、どんなことよりも大切な力です。大勢の前に立つことが苦手な人こそ、次回は勇気を持って質問に挑戦してみたいはかがですか？



課題研究のアンケートにご協力をお願いします。



課題研究では商品開発などの調査研究の一環としてアンケート調査を実施します。この目的は自分たちのグループの仮説が正しいかどうかを知ることにあると思いますが、もう一つの目的として自分たちでアンケート調査の協力や実施を行うことにありともいえます。調査対象の生徒にどのタイミングで実施できるかを各クラスの担任の先生に伺って日時を決定し、配付・回収まで行います。普通科や国際教養科にも依頼することありますが、基本的には自分たちで各

担任の先生方にアポイントメントをとって依頼し、自分たちの手で調査を行います。

1・2年生も3年生の課題研究にて、アンケート調査を行うこともありますので、よく先輩達やアンケート用紙そのものも観察しておきましょう。（答えやすいアンケートだったか、説明はわかりやすかったか、など）今年の課題研究の成果にも期待しています。頑張れ3年生！

夏の検定シーズン

「珠算・電卓」・「簿記」・「ビジネス文書」と3週連続の検定です。1・2年生は、この時期簿記の全員受検はありませんので、間隔が2週間空きますが、3年生は原価計算を中心として、進路に向けた検定取得のかき入れ時です。特に前回のビジネス文書検定は学級閉鎖により受検できなかったため、連続で検定試験に臨む生徒が例年よりも多いです。

今年も最近まで分散登校であったことなど、生徒にとって決して有利とはいえない環境での受検をおかえませんが、できる限りの努力を重ねて合格をつかみ取ってください。特に3年生向けにオンラインで授業配信をしてくれたり、分散登校明けに放課後遅くまで検定に向けた学習に付き合ってくれた教科担任の先生の指導にも応えましょう。

来週からは情報処理室や文書処理室も混み合うことが予想されます。計画的に！

